

中村章景年譜

鴻池幸武編

大正七年一月十三日

大正十一年十月 大阪中座

(五 歳)

同 十一月 東京新富座

同 十二月 東京帝國劇場

大正十二年三月 大阪中座

(六 歳)

同 四月 大阪中座

同 五月 大阪中座

三世中村雀右衛門の長男として天下茶屋に生る。母しか。

○紙治(近松原作)のおすゑ

△五歳にて初舞臺をふむ

△この時近松二百年記念興行にて口上の舞臺にて鷹治郎添言す

○紙治(近松原作)のおすゑ

△前月の興行をそのまゝ引越

○「凧の爲朝」の二男朝雅

○「土蜘蛛」の石神

○「うたかた」の丁稚芝吉

○「傾城酒吞童子」の禿ゆかり

○「淡路町心中」の娘おとよ

鷹治郎の治兵衛、福助のおさん、雀右衛門の小春

同 右

中車の爲朝

梅幸の土蜘蛛

延若の手代孝助、雀右衛門のおたね

鷹治郎の加藤兵衛吉助、雀右衛門の横笛

鷹治郎の尾形屋清兵衛、魁車の女房

同 六月

岐阜、京都、岡山巡業

同 十一月 大阪浪花座

大正十三年一月 神戸松竹劇場

(七 歳)

同 二月 京都南座

同 三月 大阪浪花座

大正十四年一月 大阪中座

(八 歳)

同 十一月 大阪中座

同 十二月 京都南座

○紙治(近松原作)のおすゑ

△岐阜松竹座初開場

○「小磯ヶ原」の千代松

○「毛谷村」の彌曾松

△神戸松竹劇場初開場

○「炬燵」のおすゑ

○「人形師」の竹若丸

△父雀右衛門、東京本郷座の四月興行

打上げ後、歸阪の途中列車内にて發

病、それより翌二月まで休養

△四月西成郡玉出第二小學校へ入學

○「寺小屋」の小太郎

△父雀右衛門休養

△紫香改め霞仙の披露あり

○「伊賀越鰻頭娘」のおのち

○「組打遠見」の敦盛

○「炬燵」のおすゑ

鷹治郎の治兵衛、福助のおさん、
雀右衛門の小春

延若の禮三郎、雀右衛門のおしづ

中車の六助、雀右衛門のおその

延若の治兵衛、雀右衛門のおさん、
宗之助の小春

仁左衛門の人形師

鷹治郎の松王、延若の源藏、福助
の千代

鷹治郎の政右衛門、魁車のお谷

幸四郎の熊谷、鷹治郎の敦盛、雀
右衛門の玉織姫

鷹治郎の治兵衛、福助のおさん、
魁車の小春

大正十五年三月 大阪中座

(九歳)

○「金閣寺」の小姓秀王丸

○「河内屋與兵衛」の娘お光

同 九月 大阪中座

○「渡海屋」の安德君

同 十月 大阪中座

○「室津の歌」の禿梅野

△三世中村梅玉追善興行

同 十二月 京都南座

○「寺小屋」の小太郎

△この時父雀右衛門は休演

昭和二年 二月 大阪中座

(十歳)

○「組打遠見」の敦盛

○「炬燵」のおすゑ

同 五月 大阪中座

○「塩原太助」の伴萬太郎

△この興行にて父雀右衛門妻おきく、

廿四孝の濡衣の役を勤め、それより

五ヶ月休養、十一月中座に出勤「本

藏下屋敷」の三千歳姫を勤む内十四

日演技半に倒れ、翌十五日午後〇時

死去す
△それより章景も翌年六月まで一ヶ年

(十一歳)

○「近江源氏八ツ目」の小三郎

中車の大膳、羽左衛門の久吉、雀
右衛門の雪姫

延若の河内屋與兵衛

延若の知盛、雀右衛門の典侍の局

鷹治郎の金五郎、福助のお妙、雀
右衛門の小太夫

中車の松王、鷹治郎の源藏、梅幸
の千代

中車の熊谷、鷹治郎の敦盛

鷹治郎の治兵衛、福助のおさん、
魁車の小春

鷹治郎の多助

鷹治郎の盛綱、巖笑の時政、市藏
の微妙

同 十一月 大阪 中座

○「天網島」(原作)の丁兒保吉
御大典
奉祝「常盤の松」の雛鶴

△御大典奉祝記念興行

△亡父雀右衛門一周年に就き「天網島」
にて扮装のまゝ、鷹治郎、福助、延
若、章景共々口上を述べ

同 十二月 京都 南座

○「對面」の犬坊丸

○「大晏寺堤」の高市庄之助

昭和四年 二月 大阪 中座
(十二歳)

○「名和長年」の乙童

同 三月 大阪 中座

○「この花會我」の禿たより

同 四月 大阪 中座

○「夕ぎり伊左衛門」の丁兒音松

同 五月 大阪 中座

○「明烏」の禿ゆかり

同 十二月 京都 南座

○「新東鑑」の太刀持に扮する俳優

○「河庄」の少婢おやす

△南座改築落成記念興行

鷹治郎の治兵衛、福助のおさん

中車の工藤、鷹治郎の十郎、幸四
郎の五郎

鷹治郎の春藤、中車の武右衛門、
幸四郎の宇田衛門

幸四郎の長年、勘彌の幾心、鷹治
郎の六條少將

仁左衛門の工藤

鷹治郎の伊左衛門

宗十郎の時次郎、福助の浦里

鷹治郎の治兵衛、中車の孫右衛門、
魁車の小春

昭和五年	一月	大阪中座
		(十三歳)
同	二月	大阪中座
同	六月	大阪中座
同	十月	大阪中座
同	十一月	大阪中座
同	十二月	京都南座
昭和六年	一月	大阪中座
		(十四歳)
同	二月	大阪中座
同	十二月	京都南座

- 「海邊ノ巖」の参宮の丁兒
- △千代之助四世片岡我當襲名披露をす
- 「助六」の茶屋廻り竹松
- △尋常小學校卒業後、四月西區江戸堀尋常高等小學校へ入學
- 「いろは新助」の丁兒松吉
- 「五大力」の舞妓鹿野
- 「源平盛衰記」の石金丸
- 「名和長年」の乙童
- 「紅葉狩」の女小姓
- 「大晏寺堤」の高市庄之助
- 「紅葉狩」の女小姓花野
- 「都路豊後掾」の座頭に扮する男
- 「勸進帳」の太刀持
- 「椀久」の舞妓市子

幸四郎の助六

鷹治郎の新助、魁車のいろは

鷹治郎の源五兵衛、中車の三五兵衛

福助の重衛

幸四郎の長年

幸四郎の更科姫

鷹治郎の春藤、延若の武右衛門、市藏の宇田衛門

幸四郎の更科姫

幸四郎の辨慶、吉右衛門の富樫、福助の判官

鷹治郎の椀久、福助の松山太夫

昭和七年 一月 大阪中座

(十五歳)

○「都双六」の舞妓若勇

鷹治郎の近江屋卯之助

同 二月 大阪中座

○「戀飛脚」の少婢おたま

鷹治郎の忠兵衛、延若の八右衛門、
福助の梅川

△三月高等小學校卒業

同 六月 大阪中座

○「やれ三味線」の舞妓小千代

福助のおろく
幸四郎の辨慶、吉右衛門の富樫、
鷹治郎の判官

○「勸進帳」の太刀持

延若の家康、福助の秀吉

同 十月 大阪歌舞伎座

○「新口村」の遠見の忠兵衛

鷹治郎の忠兵衛、孫右衛門、福助
の梅川

△大阪歌舞伎座初開場

同 十一月 大阪中座

○「龜山噺」の名越松千代

延若の水右衛門、魁車の源藏

○「重井筒」の肥後屋おちか

福助の徳兵衛、魁車のおふさ

○「額の小さな」の藝妓小竹

福助の小さな、壽三郎の金五郎

昭和八年 三月 大阪歌舞伎座

○「勸進帳」の太刀持

幸四郎の辨慶、羽左衛門の富樫、
宗十郎の判官

(十六歳)

○「助六」の茶屋廻り竹松

羽左衛門の助六、幸四郎の意休、
梅幸の揚卷

○「さくら狩」の禿ゆかり

同 六月 大阪歌舞伎座

○「魚屋宗五郎」の丁兒與吉

菊五郎の宗五郎

同	九月	東京劇場
同	十月	東京歌舞伎座
同	十一月	東京歌舞伎座
同	十二月	名古屋御園座
昭和九年	一月	東京歌舞伎座 (十七歳)
同	二月	京都南座
同	三月	東京歌舞伎座

- 「乗合船」の越後獅子
△當興行限りにて六代目尾上菊五郎の門に入る可く上京
- 「橋供養」の渡邊從者平次
- 「象引」の衣笠三木之丞
- 「紅葉狩」の侍女
- 「太十」の四天王
- 「六歌仙」の所化歌仙坊
△兒太郎改六世中村福助、四世兒太郎初舞臺披露
- 「千本櫻文珠流し」の花山縫之助
- 「素襖落」の三郎吾
- 「羽根の禿・うかれ坊主」の寫の若者
- 「三番叟・翁」の後見
- 「娘道成寺」の所化
- 「娘道成寺」の所化

長三郎、三津五郎の萬才才造

菊五郎の亘、吉右衛門の盛遠、松萬の袈婆御前

三升の象引

梅幸の更科姫、羽左衛門の維茂

幸四郎の光秀、菊五郎の十次郎、梅幸の操、吉右衛門の久吉、菊五郎の喜撰

菊五郎の太郎冠者

菊五郎の禿梅野、願人坊主

福助の翁

菊五郎の白拍子花子

菊五郎の白拍子

同	四月	東京歌舞伎座
同	五月	東京歌舞伎座
同	十月	東京歌舞伎座
同	十一月	東京歌舞伎座
同	十二月	東京劇場
昭和十年	一月	東京歌舞伎座 (十八歳)
同	二月	京都南座
同	三月	東京歌舞伎座

- 「糎庫亂戰」の榊原主水
- 「押戻」の維敵妹小眞木
- △歌舞伎座復興十周年記念興行
- 「蔚山城の清正」の鷹匠別府吉郎
- 「四千両小判梅葉」の若隠居
- 「菊畑」の腰元
- 「雪の渡り鳥」の町の若衆
- 「勸進帳」の太刀持
- 「栗餅」の太鼓持
- △當興行中梅幸歿
- 「船辨慶」の船子岩作
- 「三日太平記九つ目」の久吉の臣
- 「高杯」の姫御寮
- △二月一日中村鷹治郎歿
- 「尾上鐘春曙」の京之助
- △當興行は五世尾上菊五郎三十三回忌
追善興行なり

歌右衛門の淀君、羽左衛門の秀頼
三升の竹拔五郎

吉右衛門の清正
菊五郎の野州の富藏、吉右衛門の
藤岡藤十郎
幸四郎の鬼一、羽左衛門の虎藏、
菊五郎の智恵内
菊五郎の鯉名の銀平
幸四郎の辨慶、羽左衛門の富樫、
菊五郎の判官
宗十郎の鶴太夫

菊五郎の靜、知盛の靈
幸四郎の嘉平治、羽右衛門の久吉
菊五郎の太郎冠者

同 四月 東京歌舞伎座

同 五月 大阪歌舞伎座

同 六月 東京歌舞伎座

同 九月 東京歌舞伎座

同 十月 東京歌舞伎座

同 十一月 東京歌舞伎座

同 十二月 大阪歌舞伎座

○「尾上鐘春曙」の京之助

○「實盛物語」の郎黨

△同追善延長興行

○「尾上鐘春曙」の女達羽衣のおまつ

○「羽根の禿・うかれ坊主」の鳶者
者島藏

○「菊畑」の侍女卯月

○「あやめの榮」の鳶者

△同追善大阪引越興行

○「塗替烏帽子」の里の女

○「關三奴」の奴島平

○「菊畑」の腰元紅野

△市川中車五年振りにて出勤

○「源太しぐれ」の傳右衛門の乾分

○「沓手島狐城落月」の女侍花野

△坪内逍遙胸像建設記念興行

○「娘道成寺」の所化雲念坊

羽左衛門の實盛

幸四郎の鬼一、羽左衛門の虎藏、
菊五郎の智恵内

菊五郎の太郎、三津五郎の次郎

中車の鬼一、羽左衛門の虎藏、幸
四郎の智恵内、菊五郎の皆鶴姫

羽左衛門の磯野源太郎

歌右衛門の淀の方

菊五郎の白拍子花子

昭和十一年一月 東京歌舞伎座
(十九歳)

同 一月廿七日 東京歌舞伎座

同 二月 名古屋御園座

同 二の替り

同 三月 大阪歌舞伎座

○「暫」の侍女

○「馬伐」の捕手山崎進吾

○「三番叟」の後見

△當興行我童改め十二世片岡仁左衛門
襲名披露

○「暫」の柱の前

△俳優協會演藝會

○「菅原加茂堤」の苧屋姫

○「身替座禪」の侍女花枝

○「め組の喧嘩」の薫とまじりの
榮次

○「乗合船」の角兵衛獅子

○「天下茶屋」の才藏龜松

○「娘道成寺」の所化

○「御所の五郎藏」の子分高宮太郎次

○「かつぼれ」の島吉

○「坂崎出羽守」の茶道

○「同右」の小姓

幸四郎の鎌倉權五郎

仁左衛門三七信孝

菊五郎の三番叟、幸四郎の翁、三
津五郎の千歳

松緑の鎌倉權五郎

菊五郎の山陰右京

菊五郎の辰五郎、友右衛門の喜三
郎

菊五郎の安達元右衛門

菊五郎の白拍子花子

菊五郎の御所五郎藏、友右衛門の
星影土右衛門

菊五郎の坂崎出羽守

同 四月 東京歌舞伎座

同 五月 東京歌舞伎座

同 六月 明治座
同 七月 神戸松竹劇場

○「嫩」の女奴

(末より菊之助休演し、白菊姫章景代役にて勤む)

○「鞘當」の藝者てふ

○「重盛諫言」の武者

○「娘道成寺」の所化久念坊

△九世團十郎、五世菊五郎胸像建設記念第一回團菊祭興行

○「大徳寺焼香」の蜂谷出羽守

○「七ツ面」の都の使櫻木源之丞

○「鏡獅子」の胡蝶の精

(菊之助休演に就き總稽古より代役勤む)

△團菊祭延長興行

○「黄門記」の留役

○「馬盃」の森力丸

○「江島・生島」の海女

○「勘平の死」の若い者

△七月十二日市川中車歿

△これより中國、九州方面巡業

三升の颯

菊五郎の名古屋、幸四郎の不破、羽左衛門の留男

歌右衛門の重盛

菊五郎の白拍子花子

羽左衛門の久吉

三升の粟津六郎

菊五郎の鏡獅子

菊五郎の河童の吉藏、藤井紋太夫、吉右衛門の川口攝津之守、黄門

友右衛門の光秀

菊五郎の生島新五郎

菊五郎の勘平ミ三河町半七

同 十月 東京歌舞伎座
 同 十一月 東京歌舞伎座
 同 十二月 東京歌舞伎座
 同 十二月廿六・七日 東京歌舞伎座
 昭和十二年一月 東京歌舞伎座
 (二十歳)
 同 二月 大阪歌舞伎座
 同 三月 東京歌舞伎座
 同 四月 東京歌舞伎座

- 「乗合船」の町の娘おふみ
 ○「太十」の四天王
 ○「芝翫奴」の奴雀内
 △三世中村歌右衛門百回忌追善興行
 △中村會生る
 ○「滑稽安宅新關」の順禮おつる
 (中頃より右近休演に就き横山太郎章
 景代役にて勤む)
 ○「天下茶屋」の萬歳鶴木夫
 ○「石切梶原」の梶原方戸塚源次
 ○「加賀薦」の半三
 ○「春日龍神」の供の僧柳暗
 ○「小判一両」の茶店の女おおうめ
 △中村鷹治郎三周年追善興行
 ○「扇屋熊谷」の扇折小すゞ
 ○「どんつく」の藝者
 ○「春日局」の舞小姓

宗十郎、三津五郎の萬才
 吉右衛門の光秀、羽左衛門の十次
 耶、菊五郎の久吉
 三津五郎の芝翫奴
 菊五郎の辨慶、吉右衛門の富樫
 菊五郎の元右衛門、幸四郎の東間
 三郎右衛門
 羽左衛門の梶原
 羽左衛門の梅吉
 菊五郎の春日龍神
 菊五郎のさるや安七
 幸四郎の熊谷、羽左衛門の敦盛、
 菊五郎の姉輪
 三津五郎のどんつく
 歌右衛門の春日局

同

五月 大阪歌舞伎座

○「六歌仙」の所化大團坊

△團菊祭興行

○「春日局」の和姫君

○「杏手鳥狐城落月」の榊原主水

○「娘道成寺」の所化枳面坊

△三世中村歌右衛門百回忌追善興行

△章景中村家の一人として師匠菊五郎の許を放れ出勤す

同

六月 東京歌舞伎座

○「延命院」の非人奴ノ吉

○「同右」の御殿女中

○「船辨慶」の船子岩作

△若手花形歌舞伎

同

七月 神戸松竹劇場

○「妹脊山道行」の橘姫

○「身替座禪」の侍女左枝

○「四千両小判梅葉」の下役吹上與八

○「同右」の四番役

○「乗合船」の猿廻し島吉

△これより日支事變勃發の爲十一月まで大幹部俳優休演

菊五郎の喜撰

歌右衛門の春日局

歌右衛門の淀の方

福助の白拍子花子

羽左衛門の日當

松緑の靜、知盛の靈

菊五郎の山陰右京

菊五郎の富藏、友右衛門の藤岡藤十郎

同 十一月 東京歌舞伎座

同 十二月 東京歌舞伎座

昭和十三年一月 東京歌舞伎座
(二十一歳)

同 二月 大阪歌舞伎座

同 三月 東京歌舞伎座

○「忠臣藏」の村松三太夫

○「對面」の大磯の虎

○「神崎笹屋話」の間十二郎

○「喜撰」の所化角連坊

○「鞍馬天狗」の花見の里人

○「夢の市藏」の子分

○「暫」の桂の前

△若手花形歌舞伎

(中頃家橋休演し、「すしや」のお里敷)
日間章景代役にて勤む

○「船辨慶」の舟子磯藏

○「六歌仙」の所化雲念坊

○「暗闇の丑松」の料理職人島公

○「娘七種」の赤澤十郎

△中村鴈治郎追慕興行

○「助六曲輪菊」の傾城薄雪

薪水の工藤、松緑の五郎、菊之助の十郎

菊五郎の神崎與五郎

三津五郎の喜撰

菊五郎の僧正坊、羽左衛門の牛若丸

羽左衛門の夢の市藏

染五郎の鎌倉權五郎

菊五郎の靜、知盛の靈

菊五郎の喜撰

菊五郎の丑松

菊五郎の助六、梅玉の揚卷

同

四月

東京歌舞伎座

○「土蜘蛛」の巫女さかき

△若手花形歌舞伎

○「塩原多助」の塩原の若イ者

△團菊祭興行

同

五月

東京歌舞伎座

○「春日龍神」の供の僧西虎

○「元祿小袖幕」の町奴權右衛門

○「紅葉狩」の從者右源太

△若手花形歌舞伎

同

六月

東京歌舞伎座

○「近江源氏八ッ目」の北條の臣

○「因果小僧」の鶏娘おけい

△この興行中徴兵検査の爲一日歸郷、
第一乙種に合格

△この興行限りにて菊五郎一座を退き
歸阪

同

十一月

大阪歌舞伎座

○「三番叟」の後見

○「乗合船」の角兵衛獅子

△この興行大阪俳優として出勤

△この興行中十一月十五日入營を通達

松緑の土蜘蛛

菊五郎の塩原多助

菊五郎の春日龍神

宗十郎の丹前風呂勝山

菊之助の更科姫、家橘の維茂

羽左衛門の盛綱、仁左衛門の微妙

羽左衛門の六之助、菊五郎の野晒
小兵衛

梅玉の翁

菊五郎、三津五郎の萬才

さる

昭和十四年一月十日

大阪師團に入營

同 四月四日

大阪木津川より中支へ出征

同 五月五日

一等兵に昇進

同 十二月廿二日

中支○○地方激戦にて名譽の戦死を

午前十一時卅分

遂ぐ

上等兵に昇進

昭和十五年一月十五日

東京俳優協會より五世中村芝雀として名題適任證を贈らる

萬々歳